

休校中に関するアンケート調査結果(保護者)

有田市社会福祉協議会

調査期間

令和2年7月6日～7月17日

調査対象

A 小学校3年生以上の保護者

配付数と回答数(回収率)

141人配付 81人回答 (57%)

回答者の内訳

母親 73人 / 父親 7人 / 養育者 1人

回答者の小学校以上のお子さんの状況

小学校1年生	13人	小学校2年生	6人	小学校3年生	23人
小学校4年生	25人	小学校5年生	22人	小学校6年生	29人
中学生	17人	高校生	6人	大学生	0人

※ この内、本人を含めて子どもが1人の世帯 30人(37%)
2人の世帯 42人(52%)
3人の世帯 9人(11%)

但し、回答選択肢に未就学児は含まれていません。

回答者の就労状況

会社員(正規職員)	19人	パート/アルバイト	37人
自営業	6人	無職	6人

休校措置による回答者の在宅時間の変化

増加	30人
減少	4人
変化なし	41人

【特記事項】

自由記述欄については、記述内容からキーワード抽出し、その出現回数をカウントした。なお、ひとつの記述に複数のキーワードが含まれる場合もある。

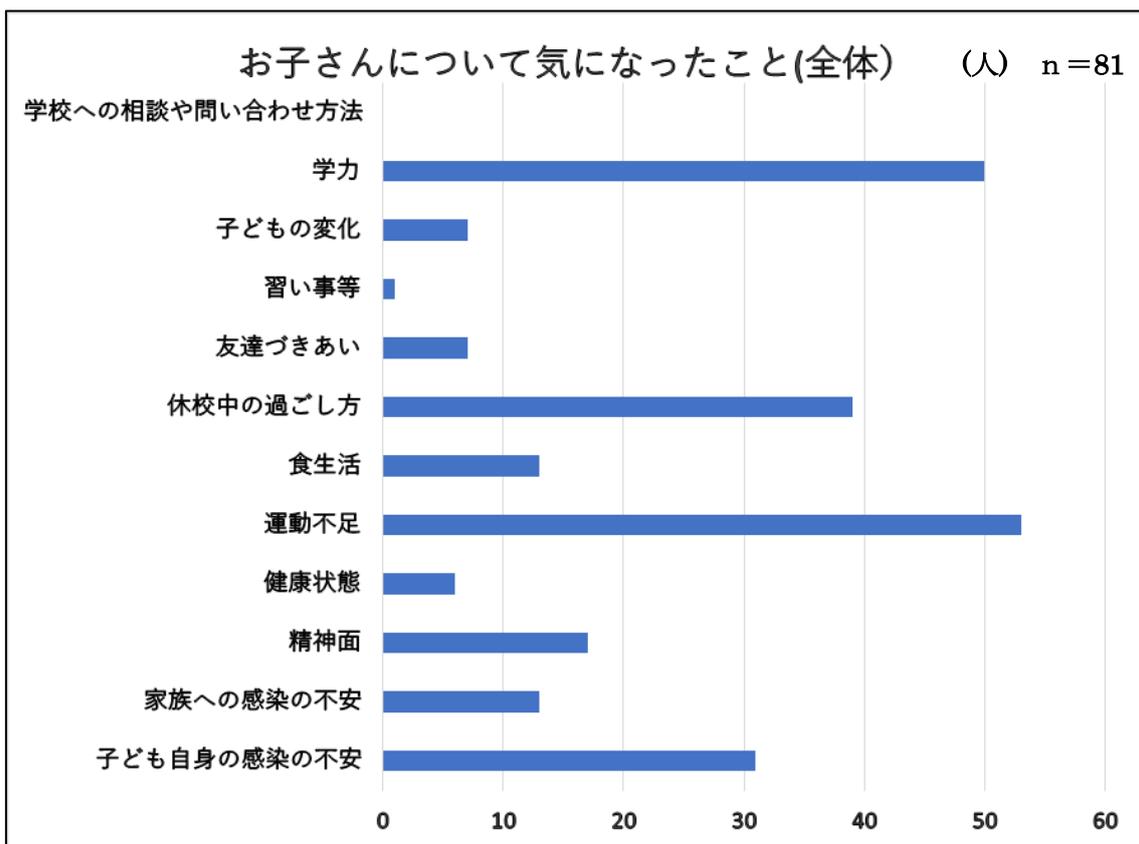
設問 今回の新型コロナウイルス感染症及びそれによる休校措置で気になったことをそれぞれ3つまで〇をしてください。

【お子さんについて】

- ・子ども自身の感染の不安
- ・家族への感染の不安
- ・精神面
- ・健康状態
- ・運動不足
- ・食生活
- ・休校中の過ごし方
- ・友達づきあい
- ・習い事等
- ・子どもの変化
- ・学力
- ・学校への相談や問い合わせ方法
- ・その他（ ）

【ご家族について】

- ・感染予防で求められる行動
- ・収入の減少
- ・休校による対応
- ・健康状態
- ・家族以外の方とのつきあい
- ・家族内での感染予防に関する合意
- ・ご近所や家族以外の方からの言葉や態度
- ・住んでいる地域の情報の把握
- ・その他（ ）

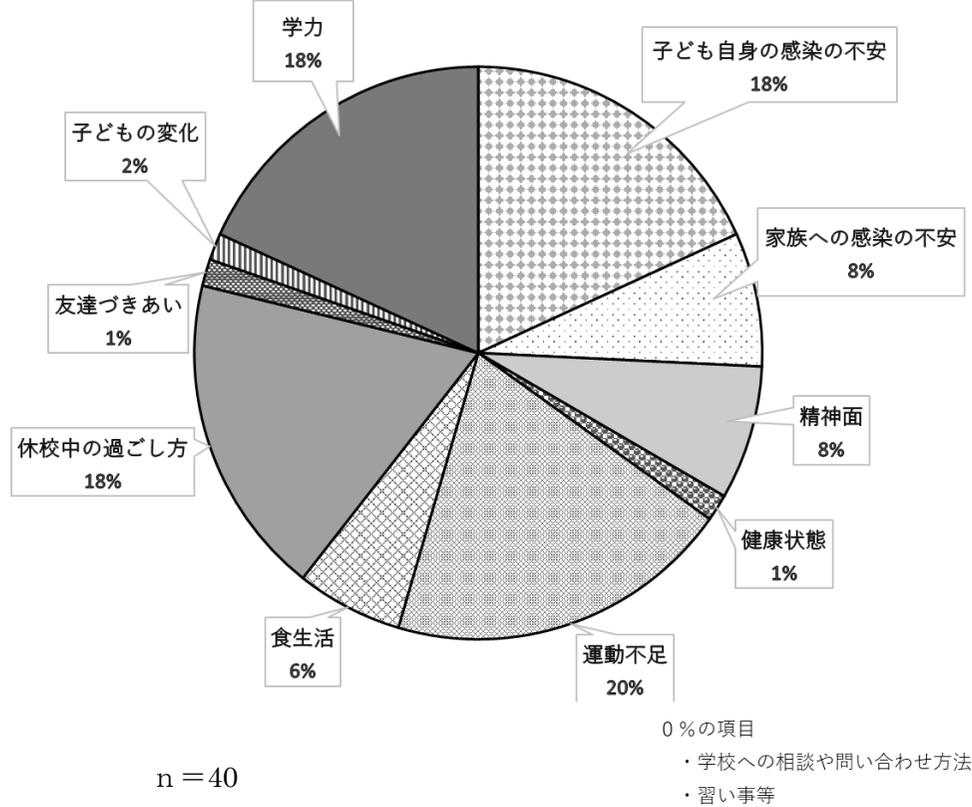


・全体としては、学力と運動不足がほぼ同数で最も気になっている。

◆子どもの学年による違い

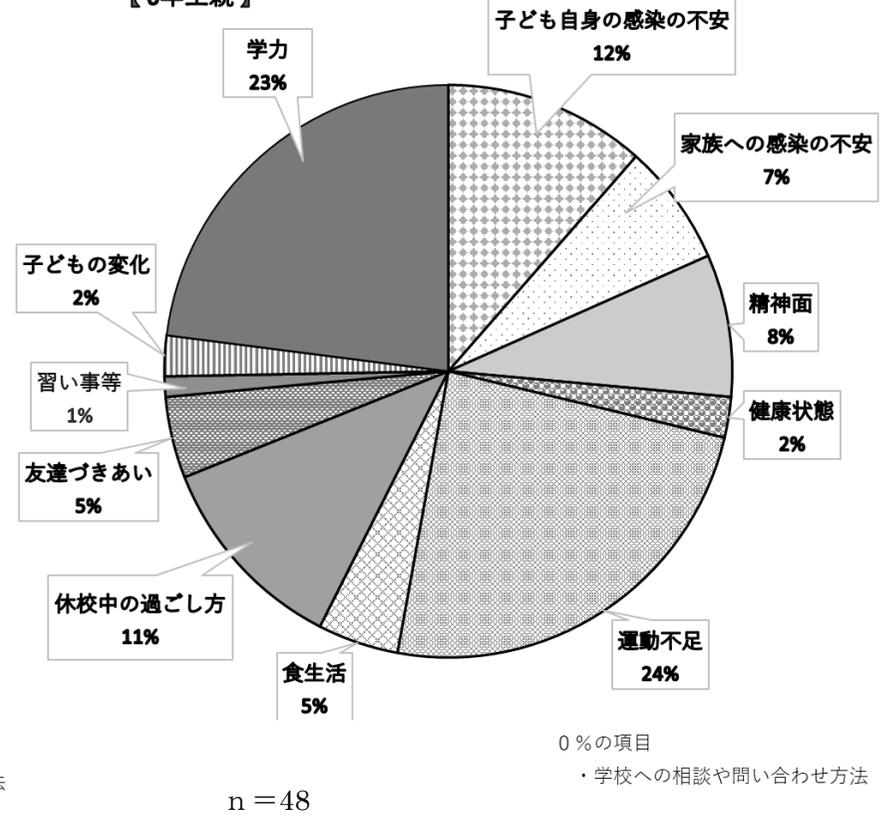
子どもについて気になること

【3年生親】



子どもについて気になること

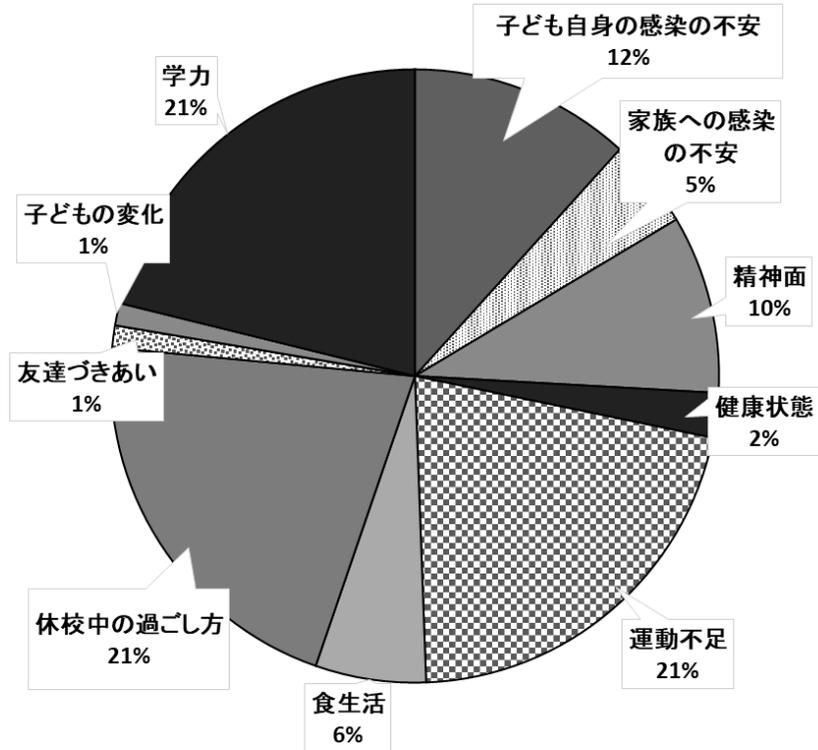
【6年生親】



- ・ 3年生親の方が、休校中の過ごし方について気にかけている。
- ・ 6年生親の方が、子の友だちづきあいを気にかけている。

◆子どもの人数による違い

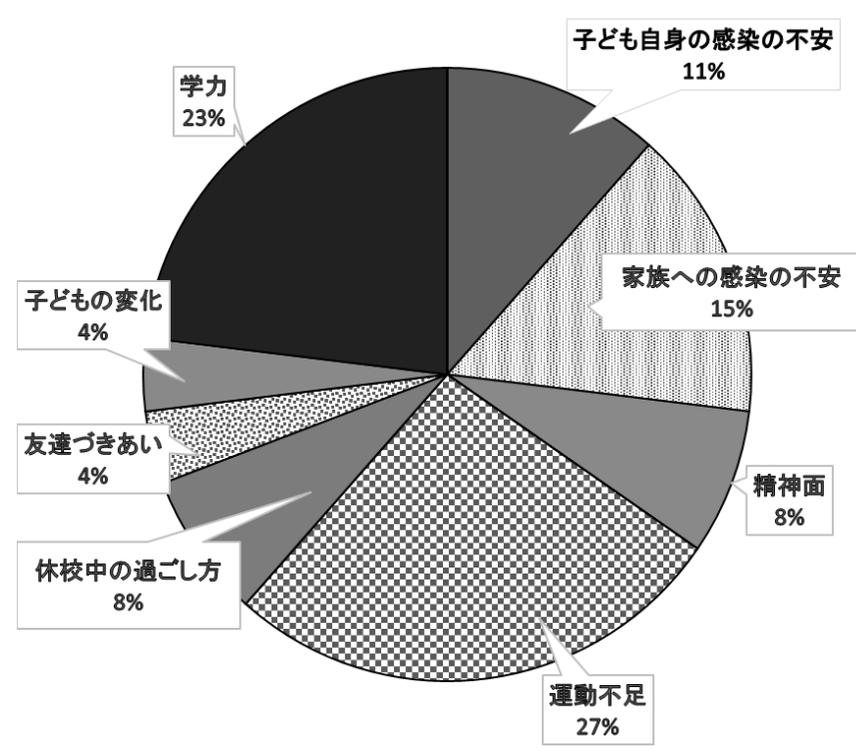
お子さんについて気になったこと(子1人)



n = 40

0%の項目
 ・習い事等
 ・学校への相談や問い合わせ方法

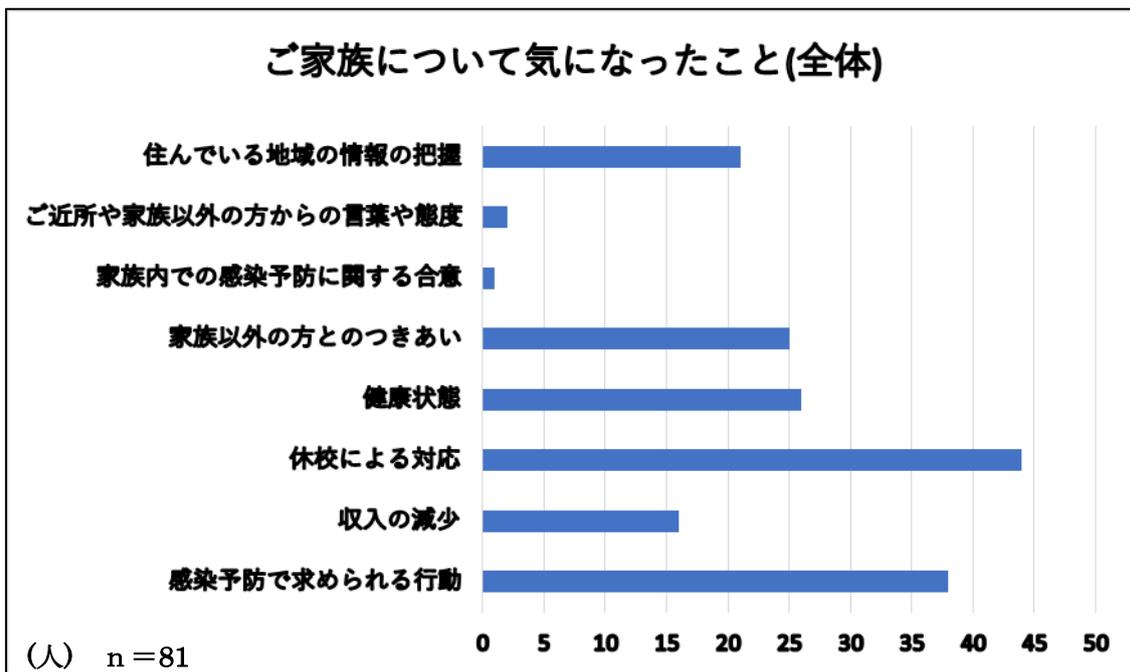
お子さんについて気になったこと(子3人)



n = 48

0%の項目
 ・習い事等
 ・学校への相談や問い合わせ方法
 ・健康状態
 ・食生活

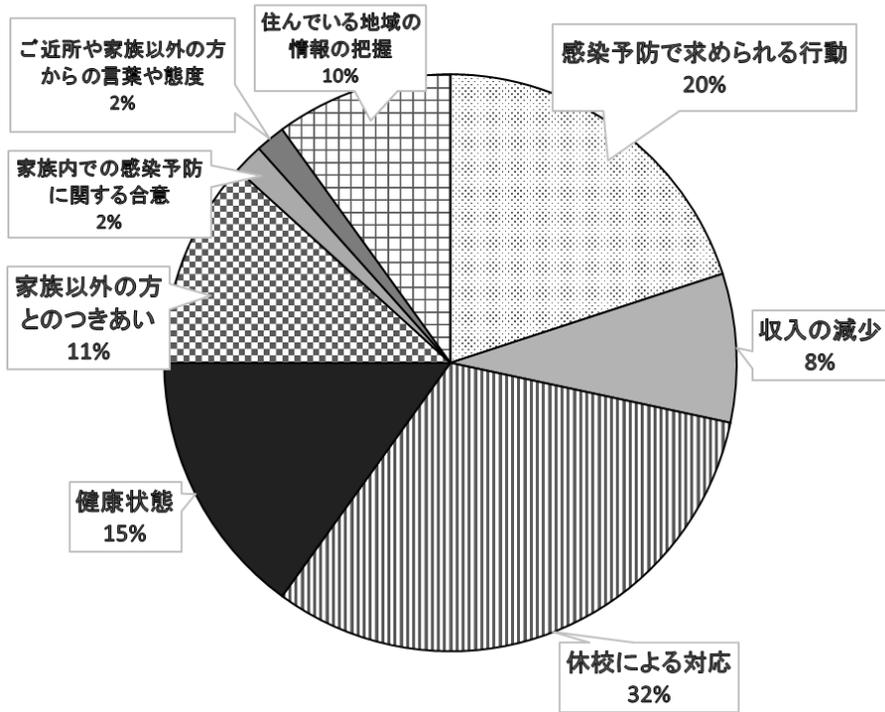
- ・家族への感染の不安は、3人の子がいる親の方が10%多い
- ・休校中の過ごし方に対する気掛かりは、一人で過ごす子の親の方が13%多い



- ・休校による対応を求められた家族が最も多かった。
- ・感染予防で求められる行動を意識する親が多いことから、情報処理にも課題があるように考えられる。

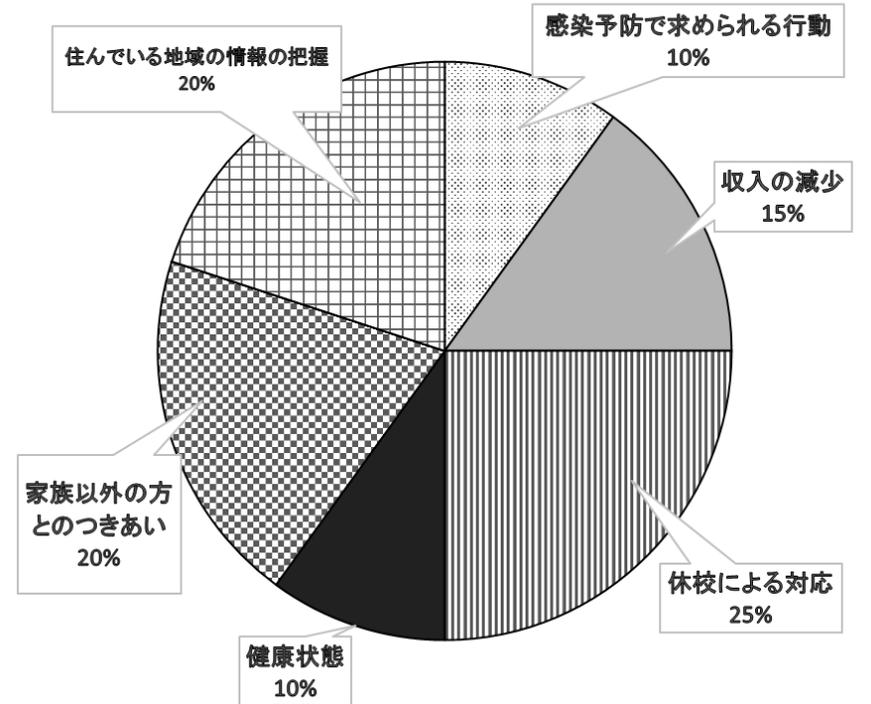
◆子どもの人数による違い

ご家族について気になったこと(子1人)



n = 30

ご家族について気になったこと(子3人)



n = 9

0%の項目

- ・家族内での感染予防に関する合意
- ・ご近所や家族以外の方からの言葉や態度

- ・感染予防で求められる行動については、子の数が少ない方が意識している。
- ・休校による対応はこの数が少ない方が負担が大きかった。
- ・逆にご近所や地域の情報については、子が多い方が意識している。

設問 コロナによる影響を受けたことで特に感じたことなど(自由記述)の分類

区分	マイナスイメージ		プラスイメージ	
	内容	人数	内容	人数
学校	学力低下	10	給食への感謝	2
	休校による悪影響	3	学校生活の大切さ	2
	リモート環境の遅れ	3	休校中の登校日の設定	1
	再開後の子どもの不安定さ・不適応	3	宿題	1
	授業の進度(再開後早くなる)	2		
	行事の中止	2		
	給食の在り方	1		
	教師の負担増	1		
	学校の対応・教育体制	1		
	学校の魅力喪失	1		
生活	自粛生活のしんどさ	8	家族の時間・絆増	3
	親のストレス増	6	低価格弁当	1
	収入の減少	4	ユーチューブの活用	1
	仕事と休校中の対応バランス	3	家族の協力	1
	昼食確保・経済的負担	3	自然で遊ぶ機会(三密回避)	1
	将来への不安	1	意識改革・多様性の理解の機会	1
	行政の支援策のなさ	1	IT環境推進への契機	1
	IT環境の整備(学校以外)	1		
	母子家庭の大変さ	1		
コロナ	第2波への恐れ	2	感染予防の定着	2
	感染の不安	2		
子ども	運動不足・体力(視力)低下	9	兄弟の支え	1
	長時間のゲーム・ユーチューブ	6	子どもの手伝い	1
	友だち関係	5		
	ストレス・喧嘩・素行悪化	5		
	子どもだけの留守番	3		
	生活リズム・態度の乱れ	2		
	障害を持つ子どもへの対応	1		
	学童保育の在り方	1		
習い事に行けない	1			

※ 自由記述回答者 38人(記入率 47%)

- ・マイナスイメージ(影響)の方が大きかったことが分かる。
- ・学力低下や運動不足/体力低下の項目から学校の意義を感じていることも推測できる。

休校中に関するアンケート調査結果(児童)

有田市社会福祉協議会

調査期間

令和2年7月6日週

調査対象

A 小学校3・4・5・6年生

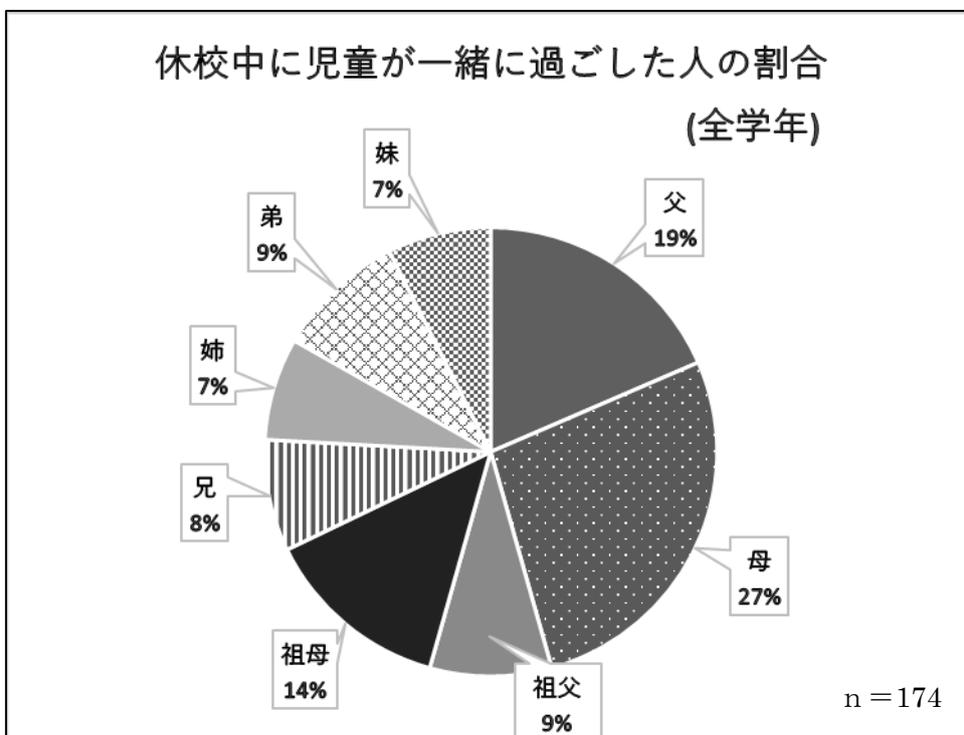
配付数と回答数(回収率)

176人配付 174人回答(98.9%)

【特記事項】

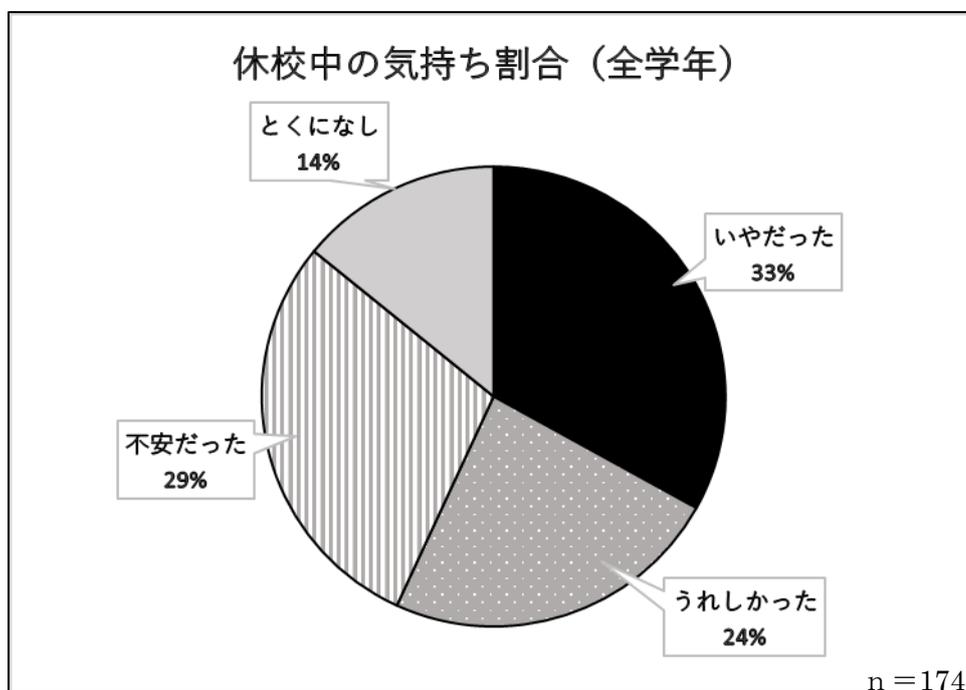
- ・自由記述欄については、記述内容からキーワード抽出し、その出現回数をカウントした。なお、ひとつの記述に複数のキーワードが含まれる場合もある。
- ・児童アンケートは学年ごとに集計したが、本報告書においてはもっとも差異が顕著と考えられる3年生と6年生の結果のみ示した。

1. 休校の間、お家では主に誰と過ごしていましたか？すべて書いてください。



その他の回答としては、「いっこ」が最も多く13人いた。他に学童もあり。

2. 学校が休みになってどんな気持ちでしたか？当てはまるものすべてに○をしてください。



◆上記のように思った理由(自由記述)

いやだった理由	人数
先生・友達と一緒にいる時間が少ない・遊べない	21
学校で授業がしたかったから、授業が遅れるから。	10
外でも遊びたかったから	3
休校が続くことが嫌	2
行事がなくなるから	2
進級するのに休みだった。	1
家にいて暇だった	1

うれしかった理由	人数
いつもよりゆっくり・好きにできる・体を休める	10
テレビ・ゲーム	5
コロナがこわい・かからない	2
宿題が1日でおわらなかつたから2日目で終われるからです。	1
長期間の休みがあった	1
家族がいたから	1

植物をさかせたいから	1
学校があるときは祖母に会えなかったから、休校中は会えてうれしかったから	1
読書ができた	1

不安だった理由	人数
コロナに関すること	7
休校が続くこと/学校が始まるかが不安	7
勉強がわからない・授業が進まない	5
家に1人であること	2
家にずっといるから	1
元の生活に戻れるか不安だった	1
習い事が休みになった	1

◆うれしかったこと 上位意見

3月	人数	4月	人数	5月	人数
ゲーム・ユーチューブ	34	ゲーム・ユーチューブ	20	登校が始まった	16
祖母やいとこ含め家族と 過ごしたこと	11	家族と過ごせた	14	宿題・勉強(自学)	15
宿題・勉強	10	宿題・勉強	12	ゲーム・ユーチューブ	21
誕生日・ひなまつりなどイベント	6	誕生日(入学式含む)	8	誕生日	10
休校	5	買い物	4	家族と過ごす	8
テレビ	4	テレビ	4	河川敷・BBQ・海など外遊び	6
ボール遊び・ジェイボー 河川敷など外遊び	3	公園・海・BBQなど	4	買い物	3
休養・疲れがとれたなど	3	学校がはじまった	4	テレビ	2
		家の手伝い	2	読書	2
		休校	2	休校	2
		遊んでいた	2	友達と会えなかった	2

少数意見

- 3月 読書・お手伝い・テイクアウト・早起き・自分の自由時間が増えたから・遊んでいた・海にいった・
外で運動時間ができた・新しい事ができた・習い事
- 4月 サッカーの練習・友達と遊んだ・人形・遅くまで起きて嬉しかった・ゆっくりした・塾・勉強、読書
学童で友達ができる
- 5月 学校の用意・マンガ・休息・高野山へ行った・プレゼント・学童で友達ができる・友達と勉強、遊び
イモリがとれた・こいのぼりが見れた・陸上が始まった・友達とあえた

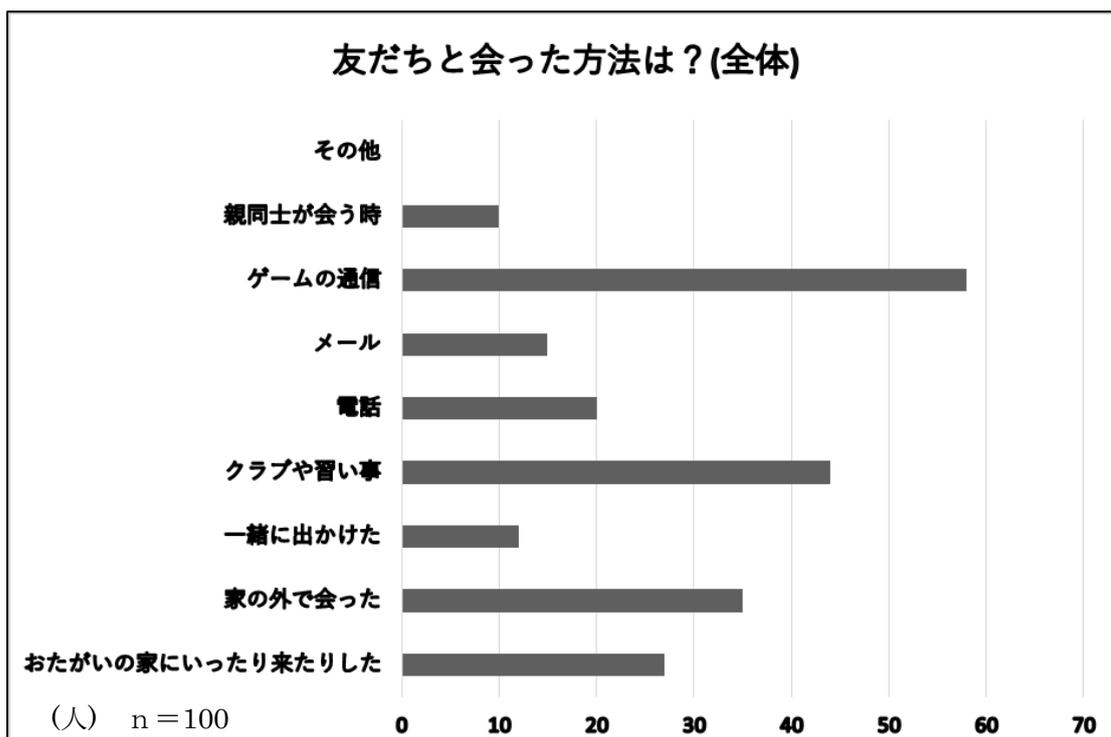
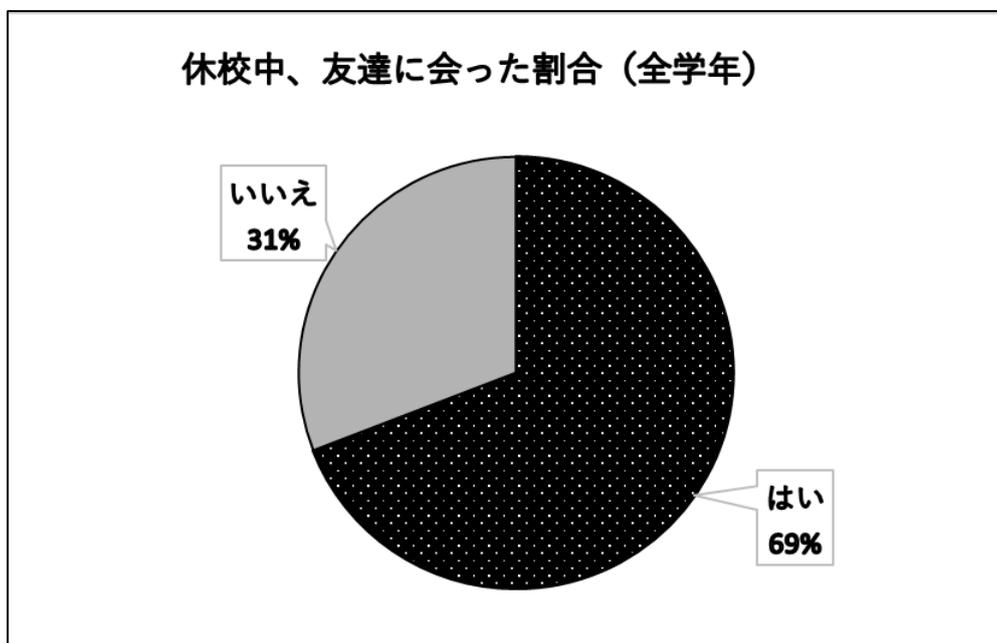
◆不安・心配・しんどかった・いやだったこと 上位意見

3月	人数	4月	人数	5月	人数
コロナ(感染・和歌山での罹患者)	15	宿題 (多い・ついていけるか)	14	コロナウィルス (感染・第2波・感染者増)	15
宿題(多い)・勉強(ついていけるか)	12	コロナ(感染・マスク)	12	宿題・勉強	10
友だちに会えない	10	友だちに会えない・ 遊ぶ相手がいない	8	学校の再開 (時期・感染・体力・再休校)	9
休校	8	暇	8	運動会や行事・大会等	4
自粛がしんどい・暇	4	外に出れなかった・自粛	5	暇	4
運動不足・体力低下	2	いつ学校が始まるか	5	休校	4
		体力低下	2	友だちと会えなかったから	3
				自粛がしんどい	3
				ケガ	2

少数意見

- 3月 だるかった・兄弟げんか・花粉・仕・夏休みがなくなるかも・休みになってみんな1年から6年まで行けるか不安
のどが痛い・ゲーム禁止・熱・ストレス・ゲーム
- 4月 学校が始まって少しづつはじまった・学校にいけた・兄弟げんか・花粉・友達出来るか不安・竹が手に刺さった。
心配・不眠・しんどかった・仕事・父のみかんとりの手伝い・ゲーム禁止・犬の散歩が不安・ゲーム
運動ができなかった
- 5月 兄弟けんか・引っ越し・しんどかった・仕事・買い物の依頼・体力が落ちていないか心ばい

③友達と会ったり遊んだりしましたか？ はい ・ いいえ (○をしてください)
 はいと答えた方は、どんな方法でしたか？

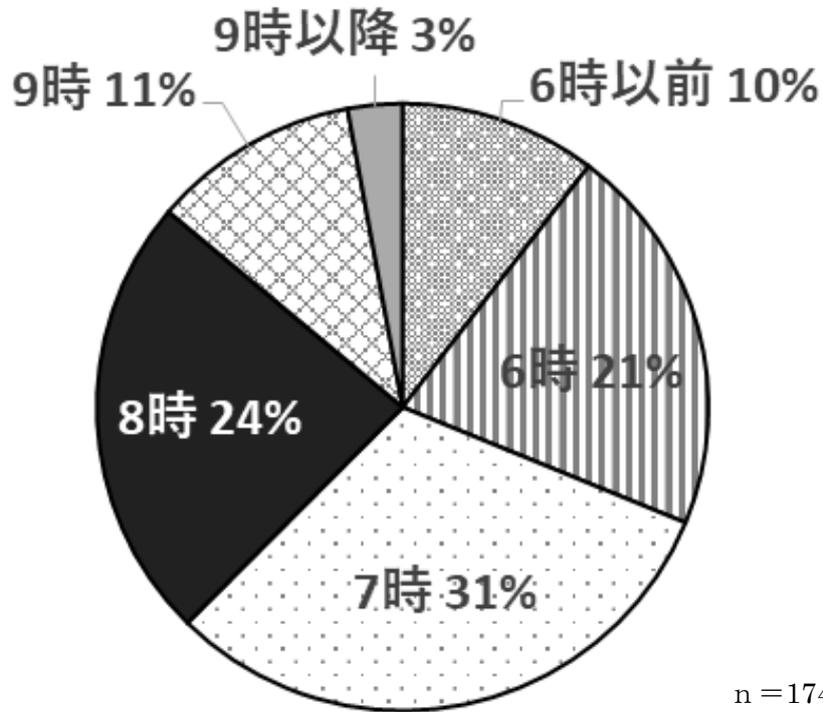


その他の回答

- ・ 習い事前・中で遊ぶ・お店・新しい家を見に来た・いとこと遊んだ
- ・ 休校前に約束していた・ゲーム・実家のリフォーム・食べに行った

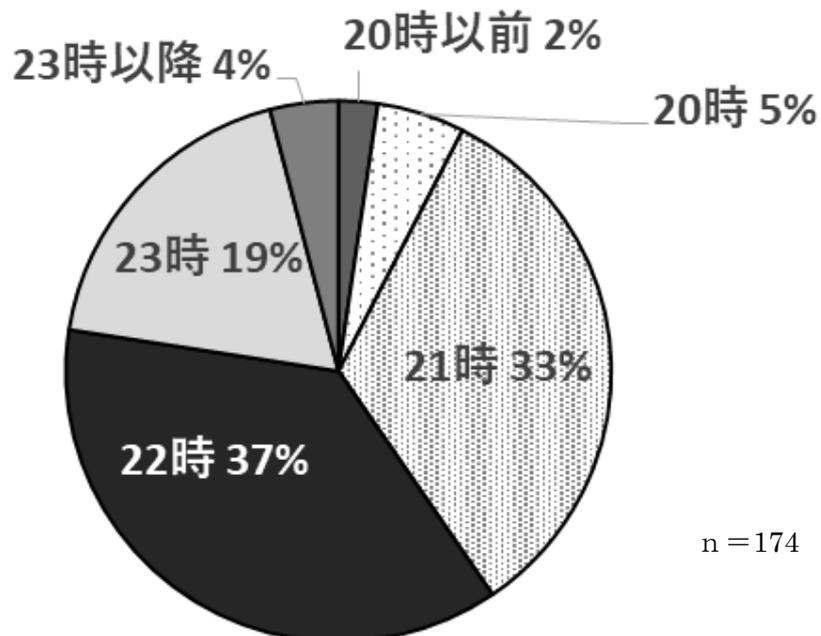
④-1 朝起きた時間は何時ごろが多かったですか？

起床時間の割合(全体)



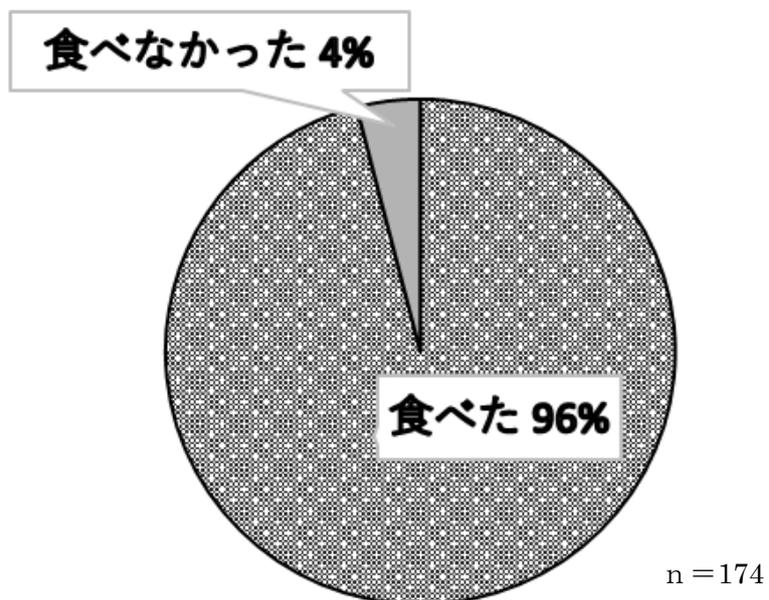
④-2 夜寝た時間は何時ごろが多かったですか？

就寝時間の割合(全体)



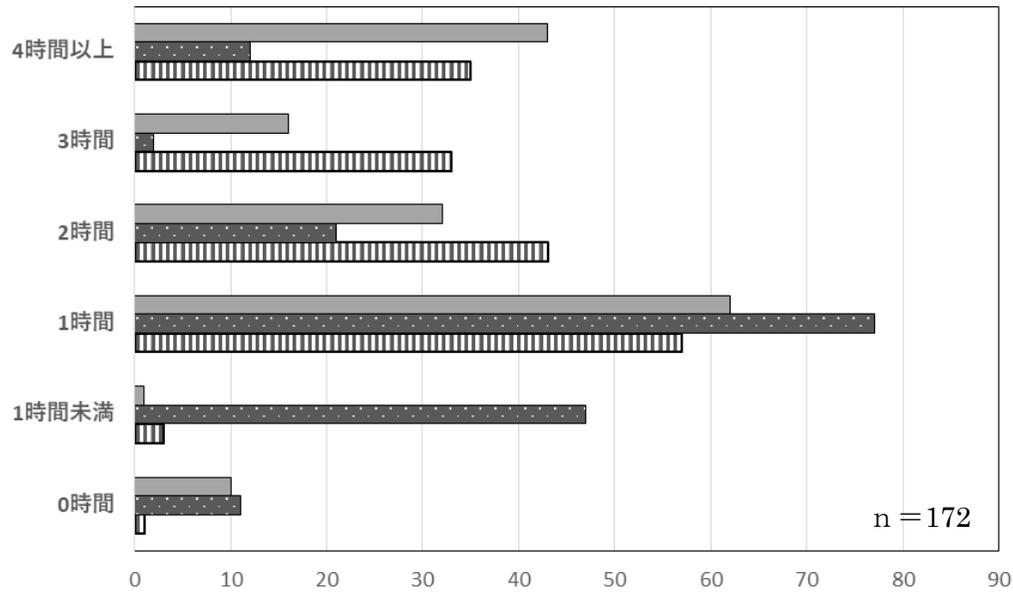
④-3 朝ごはんは食べましたか？

朝ごはんを食べた割合(全体)

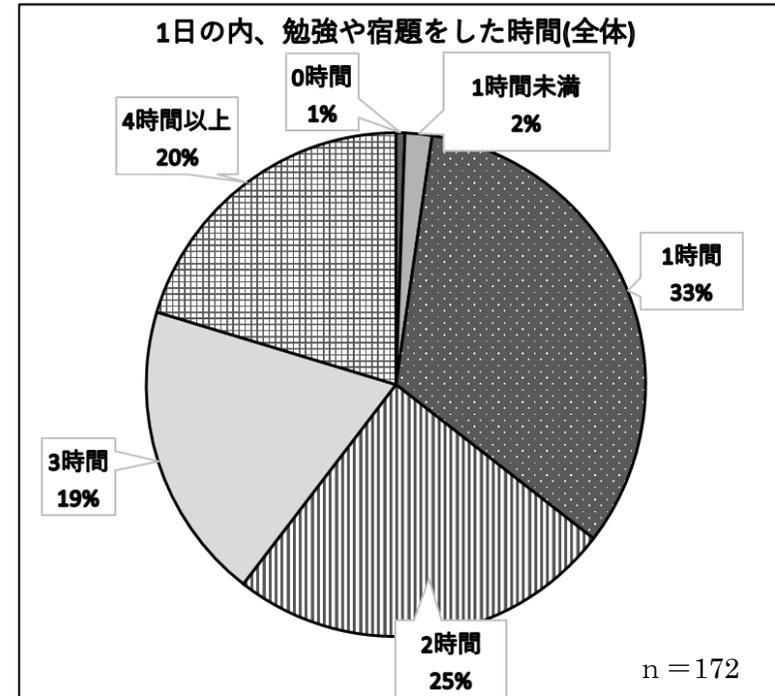


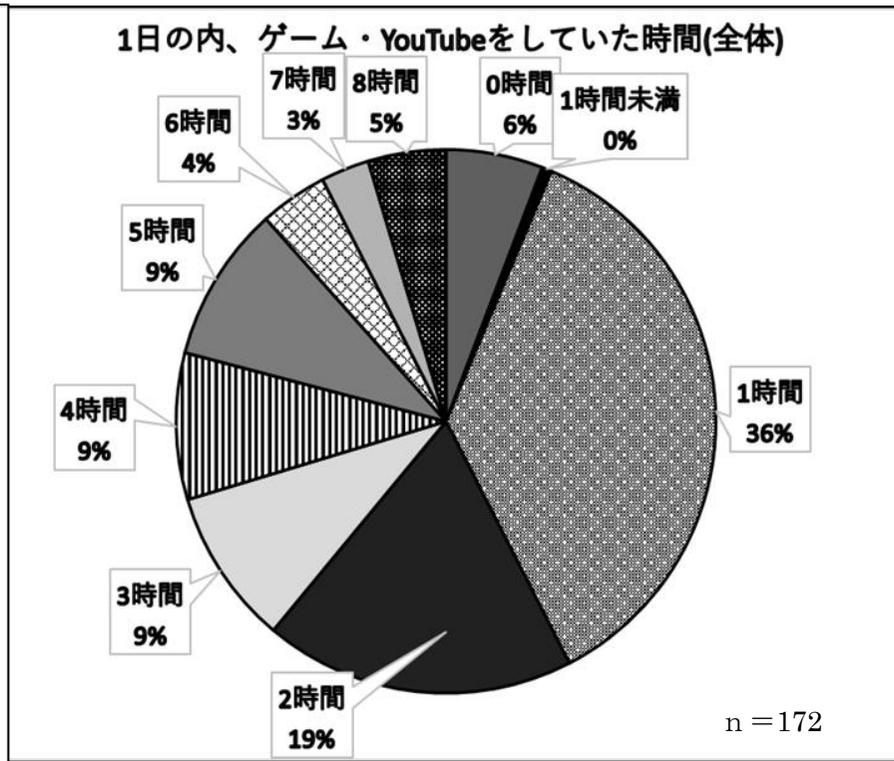
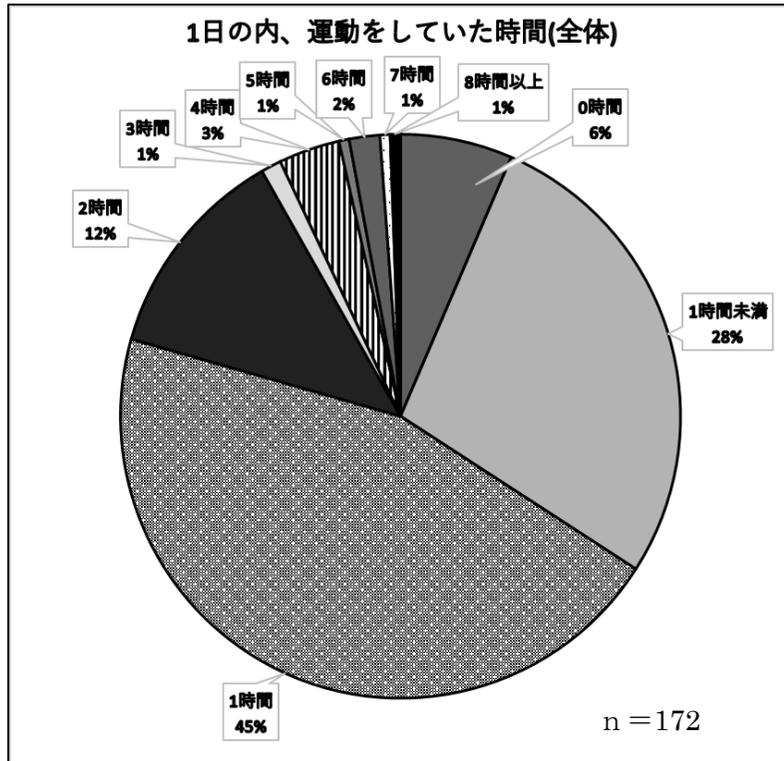
⑤ 次のことをしていたのは、1日のうちどれぐらいの時間でしたか？

1日に費やした内容の時間内訳（全学年）

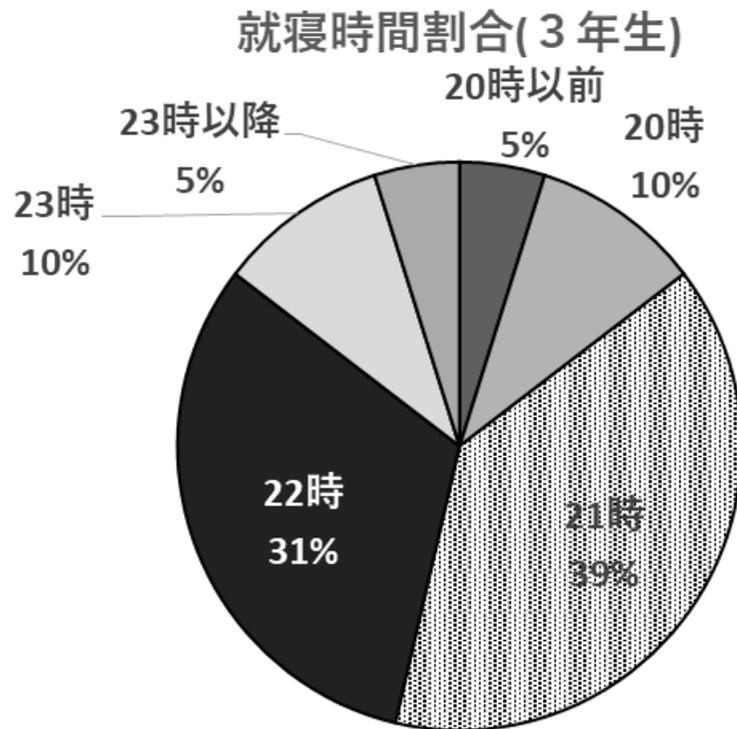


■ ゲーム・ユーチューブ ■ 運動 ▨ 勉強・宿題

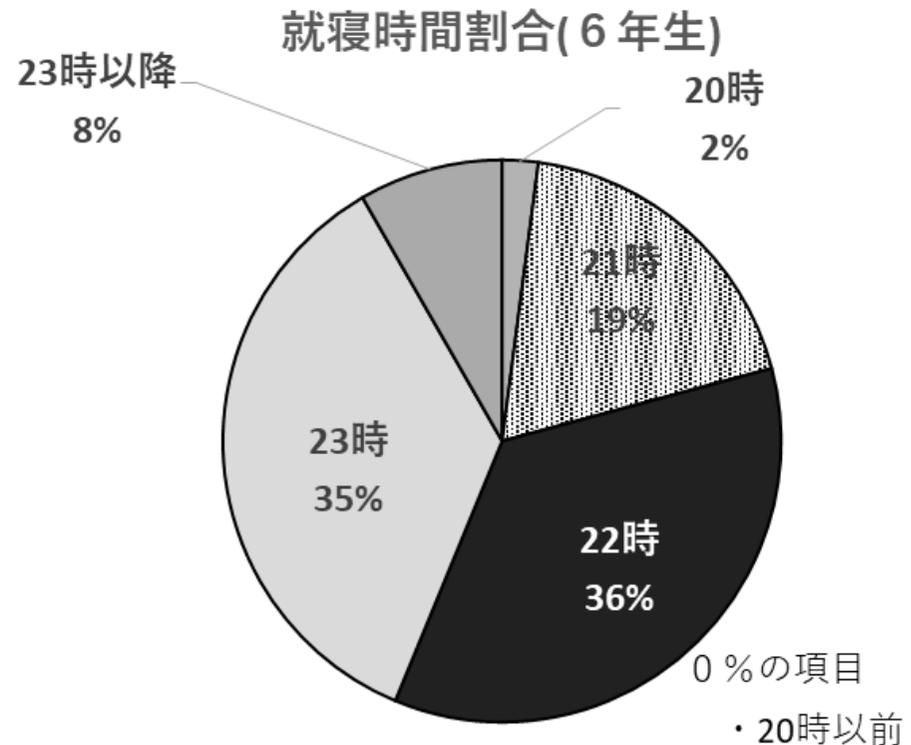




◆就寝時間割合の学年比（3年生と6年生）



n = 40

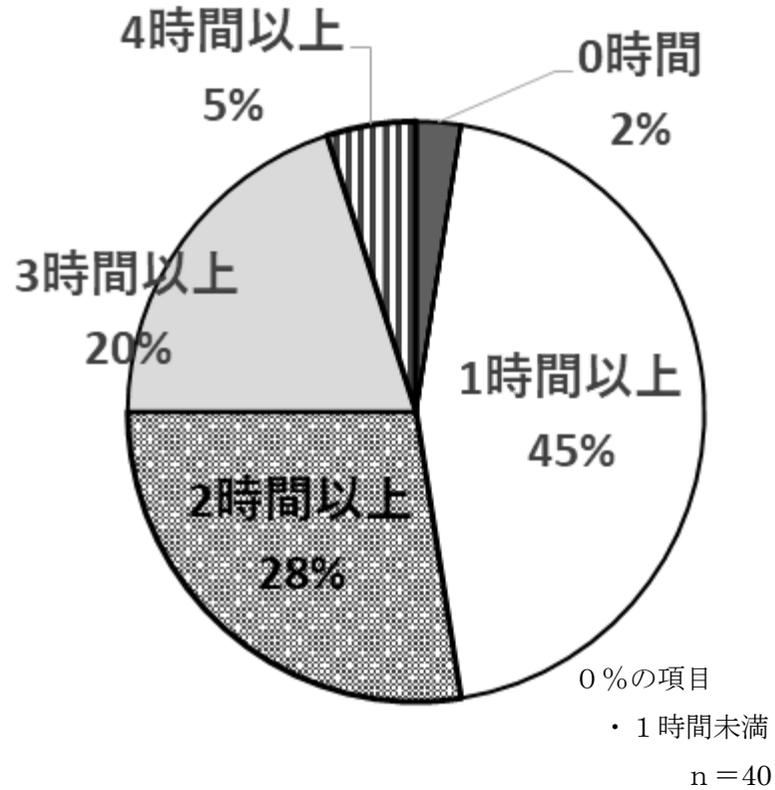


n = 48

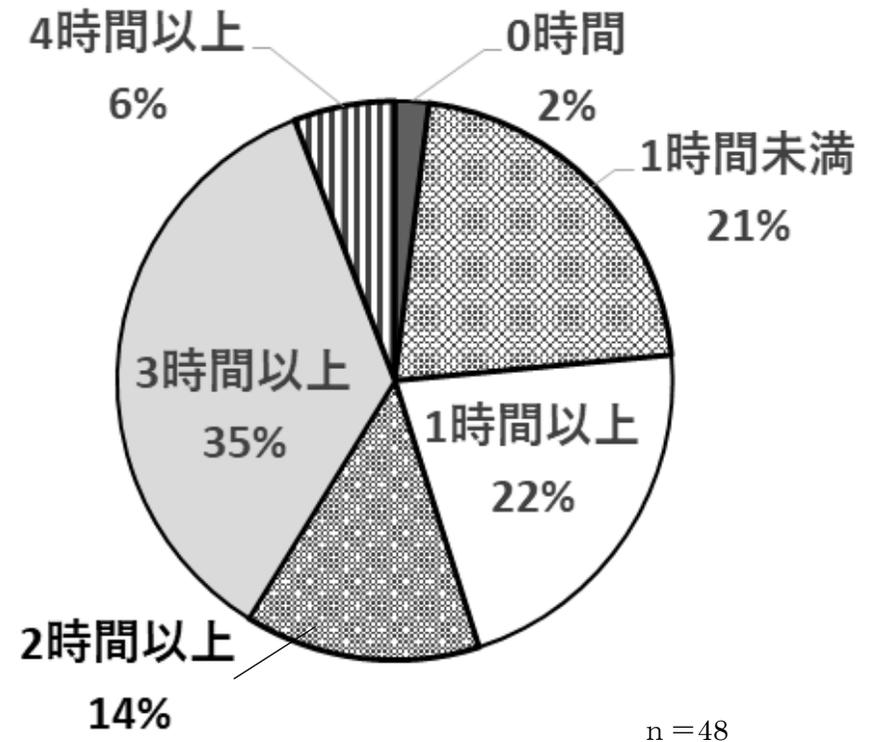
- ・ 3年生では 22 時以降に就寝するのが 46%に対し、6年生では 79%と高くなっている。

◆勉強・宿題時間割合の学年比（3年生と6年生）

勉強・宿題時間割合(3 年生)

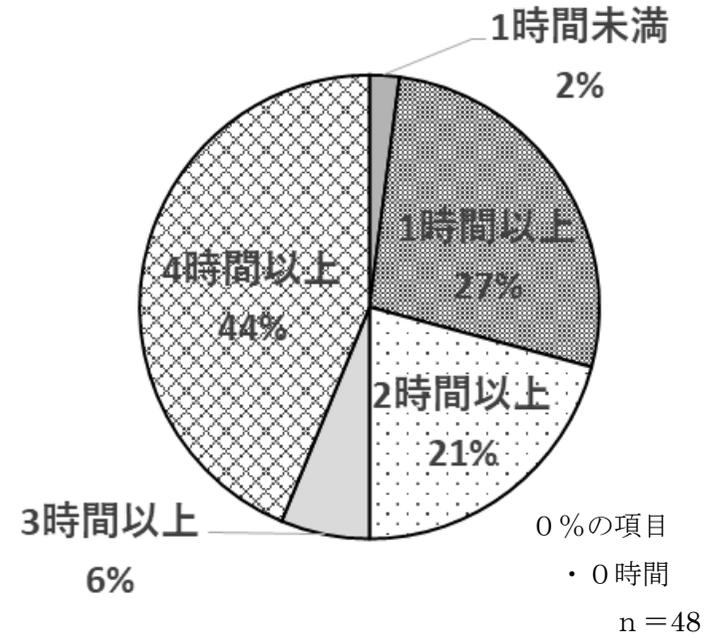
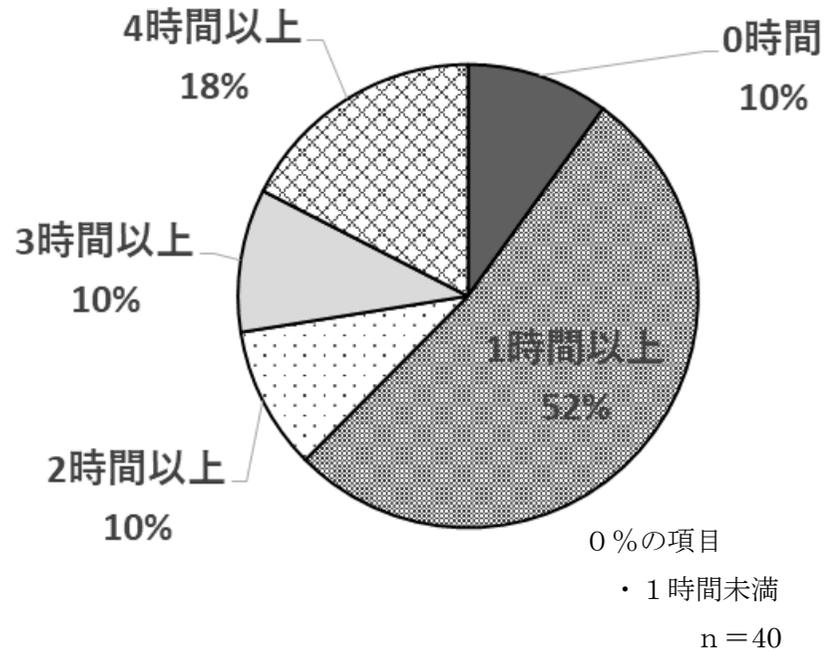


勉強・宿題時間割合(6 年生)



◆ゲーム・ユーチューブ時間割合の学年比（3年生と6年生）

ゲーム・ユーチューブ時間割合(3年生) ゲーム・ユーチューブ時間割合(6年生)



・ 3年生では半数が1時間以上2時間未満に対し、6年生では半数が3時間以上となっている。

◆その他やっていたことの上位 記入数 69人

内容	人数	回答者中の割合
手伝い	26	38%
読書	25	38%
テレビ、DVD	12	17%
図画工作	12	17%
料理・お菓子づくり	6	9%
人形・おもちゃ	6	9%

その他少数意見

- ・漫画 ・ダンス/音楽 ・ゴロゴロ/昼寝 ・バーベキュー
- ・手紙 ・つり ・買い物 ・習い事 ・喧嘩 ・電話
- ・野菜を育てていた ・トレーニング ・ペットの世話